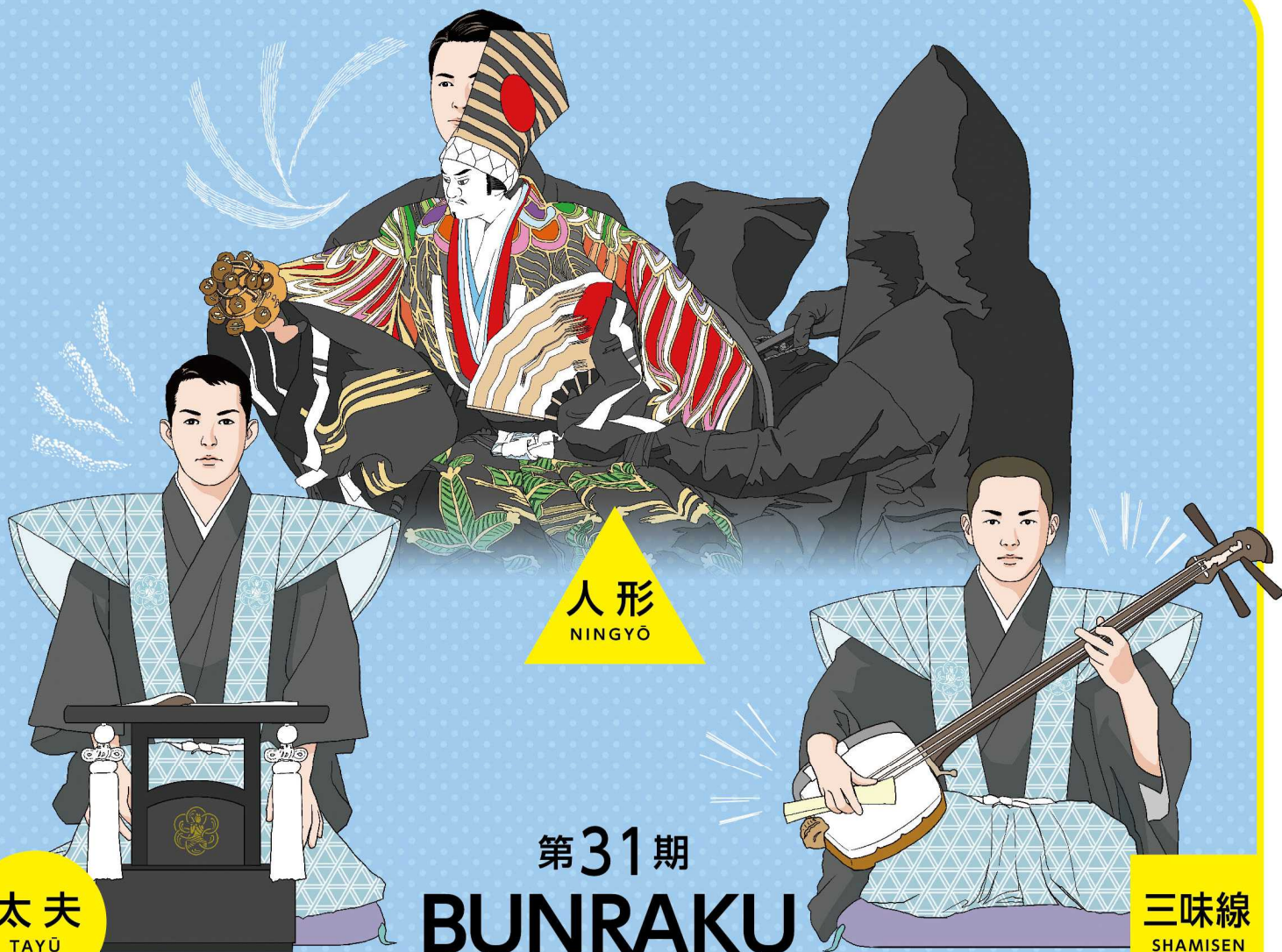




人形
NINGYŌ

第31期

BUNRAKU

太夫
TAYU

三味線
SHAMISEN

文楽研修生募集

伝統を未来に!

国立文楽劇場では伝統芸能の伝承者を養成するため、文楽の研修生を募集します。

募集人員 若干名

研修期間 令和4年4月から令和6年3月まで(2年間)

受講料 無料

応募資格 中学校卒業(卒業見込みを含む)以上の男子で、
原則として年齢23歳以下の者。経験不問。

募集期間 令和4年1月4日(火)から2月18日(金)まで

選考試験 令和4年3月2日(水)14時開始予定

■作文、簡単な実技試験、面接等を行います

協力:公益財団法人文楽協会



第31期

文楽研修生募集

人形浄瑠璃文楽は、太夫の語りと三味線の音、人形の動きが三位一体となって物語を描く総合芸術です。

江戸時代初期に大坂で生まれ、いつの時代でも変わらない人間の情を描いてきました。今日ではユネスコの「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されています。文楽の技芸員(太夫・三味線・人形)のうち約半数は、この文楽研修修了者です。あなたも将来、文楽の舞台での活躍を目指しませんか。

文楽研修

文楽の技芸員になるための基礎教育を行うことを目的としています。昭和47年(1972)に財団法人文楽協会(現・公益財団法人文楽協会)の協力を得て開始しました。

文楽への理解を深めるため、最初は太夫・三味線・人形の基本を学びます。適性審査の後、それぞれの専門分野にわかれて、より実践に近い技芸を習得していきます。修了後は、幹部技芸員に入門して公益財団法人文楽協会と契約し、技芸員として舞台に出演することとなります。

- 研修期間 令和4年4月から令和6年3月までの2年間
- 研修時間 原則として、平日午前10時から午後6時まで。但し、2年次は土曜日・日曜日・祝日や午後6時以降に研修が及ぶことも多くあります。
- 研修場所 主に大阪の国立文楽劇場で行います。文楽の東京公演時は国立劇場(東京都千代田区)他で行います。
- 研修科目 義太夫・三味線・人形の基礎、舞台実習、公演見学のほか、技芸員になる上で必要な科目を受講します。適性審査後は専攻に即した科目を中心に受講することとなります。
- 適性審査 研修開始後8か月以内に適性審査を実施します。合格者は、専攻(太夫・三味線・人形)を決定します。不合格となった場合は、研修生の身分を失います。
- 受講料 無料
- 宿 舎 遠隔地に居住する研修生に対し、審査のうえ宿舎を有料で貸与し、空室がない場合は住宅費補助金を交付します。
- 適性審査合格者には、研修期間中、伝統芸能伝承奨励費の貸与資格が与えられます。

太 夫 TAYŪ



太夫は、登場人物すべての台詞・心理・動作などを1人で語り分け、物語を展開していく重要な役割を担っています。専攻課程では、義太夫節独特の発声法や的確な表現の習得をめざして、様々な曲目を履修します。

三味線 SHAMISEN



文楽では、太棹と呼ばれる三味線を用います。三味線弾きはその太く低い響きにより、浄瑠璃の感情を表現します。専攻課程では基本奏法の習得に加え、音色で感情を表現することを学んでいきます。

人 形 NINGYŌ



文楽では、一体の人形を主遣い・左遣い・足遣いの3人で操ります。研修では、足遣いを中心に履修します。専攻課程に入ってから、実際の文楽公演での舞台実習も多くなります。

※写真は研修風景です

研修の様子を動画で紹介しています。

https://www.youtube.com/watch?v=URgc_hYYS04



お問合せ



独立行政法人日本芸術文化振興会

国立文楽劇場 企画制作課養成係

午前10時～午後6時(土・日・祝、12/29～1/3を除く)

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号 TEL.06(6212)5529

<https://www.ntjjac.go.jp/training/group/bunraku.html>



● Osaka Metro(千日前線・堺筋線)・近鉄日本橋駅下車
7番出口より東へ徒歩1分